

障害ある子どもが
楽しめる玩具紹介

駿河区で開会

静岡市葵区のNPO

法人ホスピタル・プレイ協会は3日、同市駿河区の県立大短期大学部で、障害のある子どもたちが楽しんで遊べるおもちゃをテーマにした開会式を開催した。



障害のある子どもたちが楽しんで遊べるおもちゃをテーマにした開会式—静岡市駿河区の県立大短期大学部

おもちゃをテーマにした開会式開いた。南部特別支援学校(同市駿河区)の教職員14人が受聘した。

同協会の会長河本鈴代さん(左)が、保冷剤と香らきらと光る粉をビニール袋に入れ、袋の上から触ったり、ペットボトルの中でサラダ油、食紅、スパンコールを混ぜて色の変化を楽しんだりするおもちゃを紹介した。

受聘した教職員はおもちゃ作りも体験し、「授業で使っても安全なのか」「材料費はどれくらいか」などと質問していた。

同協会は医療におもちゃ遊びなどを取り入れ、病児や障害のある子どもが前向きに治療などを受けられる環境

作りに取り組んでい